



一人ひとりの生徒の 学びのモチベーションを どう高めていますか？

- 探究的な学びを引き出す
しかけ

探Qスキル勉強会④

21.DEC.2024



眺野大輔
静岡県立ふじのくに国際高等学校



探究的な学びのデザイン

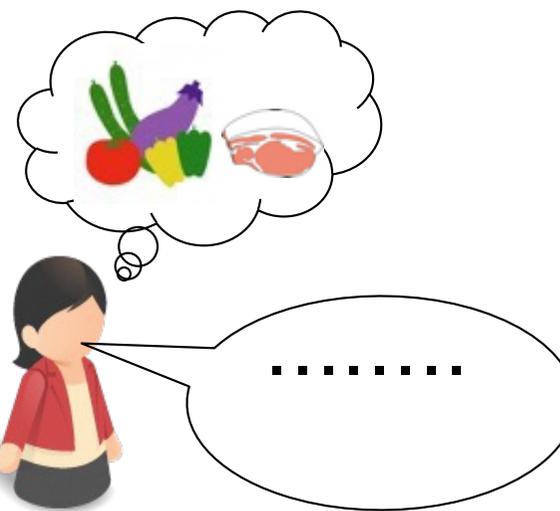
■ 実社会での体験等に対して

- 専門家等の思考・実践から実践のプロセスを読み取る
- 専門家等の思考を語ってもらう（言語化）

➡ 授業デザインに生かす



専門家の実践



言語化

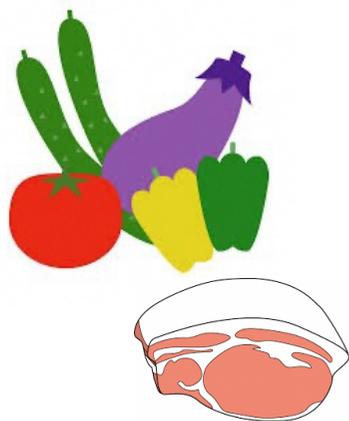




探究的な学びのしかけ

- 実社会における課題解決のプロセスを、教師のしかけで探究的な学びに仕立てる。←大人の学びとのつながり
- 現実世界の圧力、混乱、リスクを回避し、生徒が存分に試行錯誤できる環境を整える。

専門家の実践



教師のしかけ



探究的な学び





教師のしかけ→カリキュラム

■ 表の目標と裏の目標を設定

- 生徒の目標は、活動への関心を高めるもの（表の目標）
- 教師の目標は、育てたい資質・能力の育成（裏の目標）

■ 育てたい資質・能力が必要不可欠な学習の流れ

- 育てたい資質・能力が自然と必要になる流れを作る
- 発表会等での気づきを改善につなげる流れを確保する

■ 生徒が成長を自覚する振り返り

- 1時間、1単元、3年間の振り返りで、長期にわたる自分の成長を実感できる機会を設定





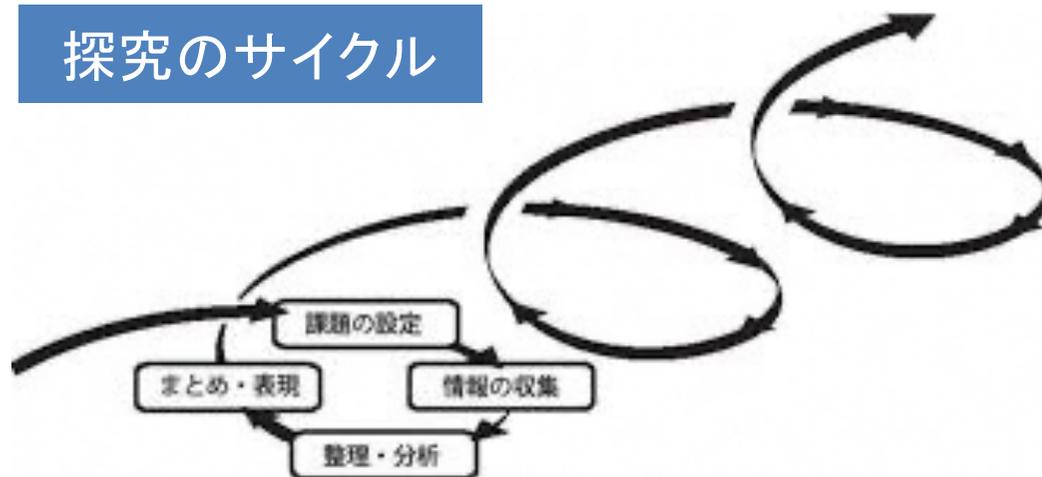
探究のサイクルを繰り返す

■ 探究的な学びを深める工夫

短い区切りで何度も繰り返す

- 他の班の活動から気づきを得て、改善できる
- 締切が設定され、活動にメリハリができる
- 個の活動とグループの活動を行き来する

探究のサイクル





探究のサイクルを繰り返す

■ 探究的な学びに勢いをつける工夫

思いを揺さぶる体験活動の設定

- ・ 単元の最初でのテーマに惹きつける体験活動
- ・ 単元の前半での課題意識に気づいてしまう体験活動
- ・ 単元の後半での実際に課題解決に挑戦する体験活動
など

■ 生徒の思いを揺さぶる工夫

課題の当事者の思いに触れる

体験活動の設定

- ・ 当事者の思いや願いを直接感じる体験活動 など



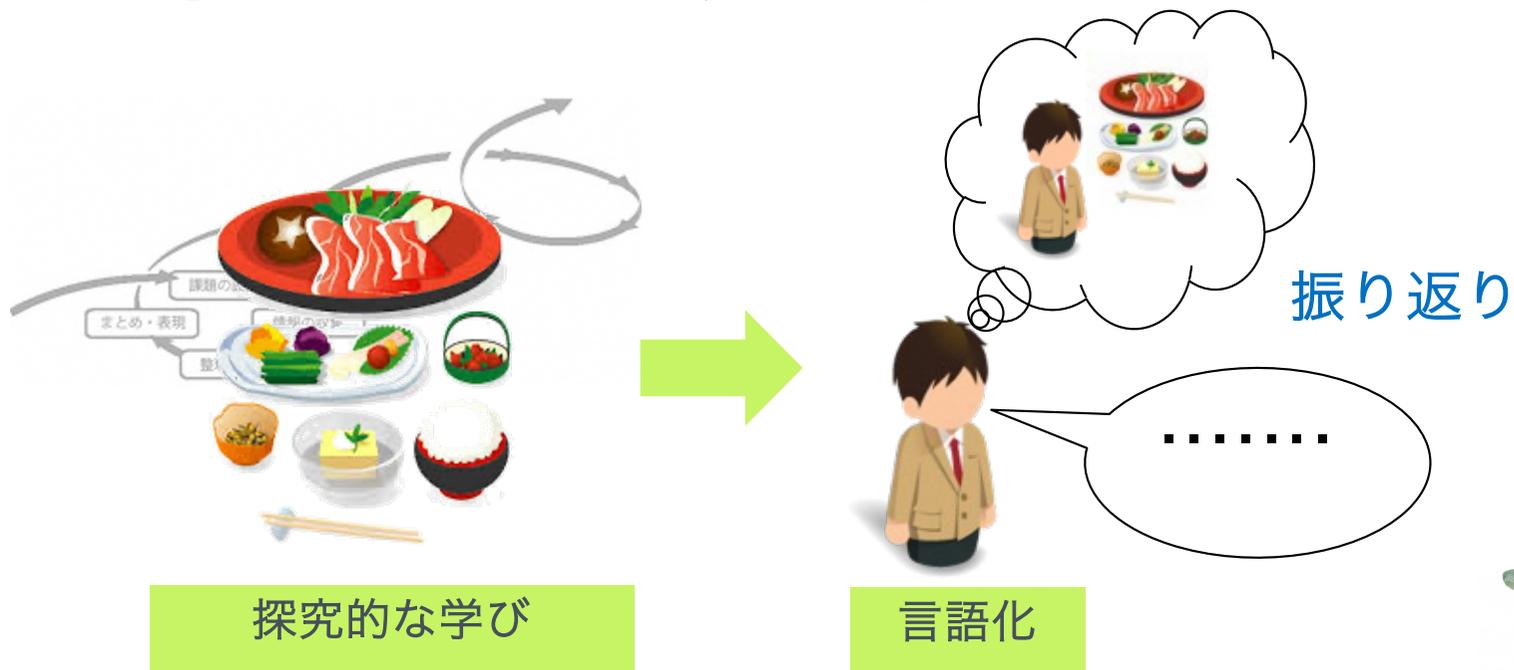


教師のしかけ→生徒

■ 生徒に対して

- 生徒の発言や変容を見取り，生徒に返していく
- 生徒の思考を読み取り，学習計画を修正する

● **教えようとせず，
言葉にして気づかせるアプローチで**





しかけはモチベーションを引き出すため

■ 探究的な学びに夢中になる単元づくり

**生徒の心がいつ、どんな場面で、
どのように揺さぶられるのか
生徒の思いや思考を想像して、
しかけを練り上げる**

- 生徒の思いは、活動の配列だけでは立ち上がらない
- 一人ひとりの生徒の学びのプロセスを想像し、
生徒の心にどうしたら火がつくか考え抜く
- 計画に縛られすぎず、生徒の状況に合わせて
しかけのタイミングや方法も変えていく





みなさんは
どんな工夫をしていますか

